



測定日時：平成25年7月20日 12：39～14：40

気象状況（14時時点）：気温21.4℃、湿度76%、風速4.9m、風向 北北東

測定高さ：原子炉建屋オペレーティングフロア上 15～40m

測定方法：

- ・連続自動撮影状態にした赤外線カメラ1台を原子炉建屋上部へクレーンにて吊り下げ位置へ移動し、測定高さを変えながら撮影。
- ・撮影後、赤外線カメラを回収し、データ確認を実施。

赤外線サーモグラフィ測定の結果

湯気らしきものが出ていた箇所は、天井クレーンの陰になっているため、気温とほぼ同等の温度計測値を示しており、当該箇所の付近には発熱体はないものと考えられる。

オペレーティングフロア上にあるものの材質、色などにより、太陽光の吸収率や反射率が異なるため、温度むらが発生していると考えられる。

